

港北区内全公立小中学校へ、 おすすめ本等の紹介メッセージボードを 贈呈します。

港北区では、「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」に基づき、区の地域性に応じた読書活動の推進を図るため、「第二次港北区読書活動推進目標」を10月に策定しました。

この目標のひとつに「子どもたちの成長に応じた読書活動の推進」があり、学校図書館を中心とした読書活動の推進に取り組むことにしています。

コロナ禍における読書の重要性が高まる中、小中学生へのさらなる読書活動の推進を図るため、区内全公立小中学校へ、先生や児童生徒が選んだおすすめ本などを紹介できるメッセージボードを贈呈します。また、併せて港北図書館司書が選んだおすすめ本紹介カードを配付します。代表の小中学校各1校には、区長からの贈呈式を行います。

メッセージボードには、港北区キャラクターミズキーと港北図書館キャラクターが描かれています。

○ 贈呈式

- 1 新吉田第二小学校（港北区新吉田町491-1）
日時 令和2年10月20日（火）8時25分から
場所 放送室・図書室

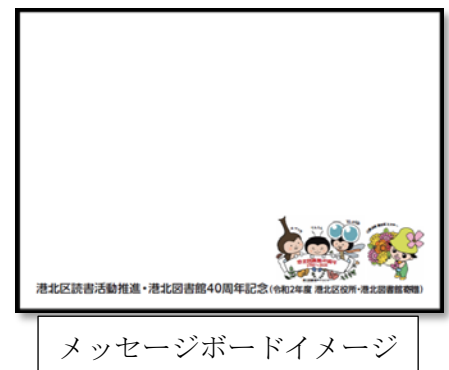
全校朝礼にて、放送室から区長が全校児童向けにメッセージを伝えた後に、図書室でメッセージボード等を贈呈。

- 2 城郷中学校（港北区小机町325）
日時 令和2年10月30日（金）12時25分から
場所 放送室・図書室

昼食時に、放送室から区長が全校生徒向けにメッセージを伝えた後に、図書室でメッセージボード等を贈呈。

- 港北図書館司書が選んだおすすめ本紹介カード
別紙、おすすめ本紹介カードイメージをご参照ください。

※ 当日、取材にお越しいただける場合は、前日までに下記問合せ先へご連絡ください。



お問合せ先

港北区地域振興課 読書活動推進担当課長

兼 教育委員会事務局 港北図書館長

青木 邦男

Tel 045-421-1213

おすすめ本紹介カードイメージ

○港北図書館作成の小学校1、2年生向けおすすめ本リスト

書誌番号	通番	請求記号	タイトル	著者	出版社	掲載年	本の内容
3-0500420492	低1-a	38.8	りこうな子ども アジアの昔話	松岡享子／編・訳 下田昌克／絵	こぐま社	2017	ずっとずっとむかし。男の子が だろぼうに さらわれて しまいました。森の入り口で、男の子は じめんにおろされ、だろぼうのあとを歩きながら にげだす手だてを 考えました。そして いいことを おもいつきました。ぜんぶで 3つのむかしばなしが はいっています。
3-0195014116	低1-	72	かおかけちやうよ	エド・エンバリー／さく	借成社	2005	だれでも 絵(え)が かけるようになる エンバリーおじさんの 絵かきえほんです。○△□が かけるなら あらふしぎ、どんなかおでも かけますよ。ほかに『どうぶつ かけちやうよ』なんでも かけちやうよ』もあります。
3-0207067661	低2-a	91	かさぶたってどんなぶた あそぶことば	小池昌代／編 スズキコージ／画	あかね書房	2015	かさぶたって どんなぶた。ころんじやって から ちがでちやってから ひざこそうに 五日めに やつてきたぶた。だまってよんでも ながめてみても、こえにしたら なおたのしい、おかしく ふしぎな しのえほん。ことばあそびの ゆかいなえほん。
3-02020708	低2-b	EN3	みえないってどんなこと?	星川ひろ子／写真・文	岩崎書店	2015	ようちえんに めのみえない めぐみさんが やつてきました。みえないって、どんなことなのかな。みんなで めかくしをして あるいてみたり、てで きわって ものを あててみたりしました。すると、めで みなくても いろいろなことが わかることに きがつきました。
3-05000290	低3-a	EN4	バナナのはなし	伊沢尚子／文 及川賢治／絵	福音館書店	2020	バナナを れいぞうこに いれてみたら、いっしゅうかんご、かわがくろく なってた! なんで? バナナは、どんなはなが さくのかな? かわにある くらいほつほつは なんだろう? かわをむくとでてる しるいすじは、なに? バナナのふしぎが よくわかる えほんです。
3-0500065667	低3-b	EN4	ひまわり	荒井真紀／文・絵 [高橋秀男]／【監修】	金の星社	2018	ひまわりのたねをまいたら、つちのなかから めが できました。くきは ぐんぐんのび、たいようをおい かけて むきをかえます。でも はながさくころに くきはうごかなくなりす。そして、うえをむいていたつ ぼみがよこむきになると、おおきな きいろいはなが みえてきました。

リストより作成したおすすめ本紹介カード

1・2ねんせい

低1-a

むかしばなし

『りこうな子ども アジアの昔話』

松岡享子／編・訳
下田昌克／絵
こぐま社

ずっとずっとむかし。男の子が だろぼうに
さらわれて しまいました。森の入り口で、男の子は
じめんにおろされ、だろぼうのあとを歩きながら
にげだす手だてを ^{かんが}考えました。そして いいことを
おもいつきました。

ぜんぶで 3つのむかしばなしが はいっています。

